

令和3年度 設置者(県)の取組状況

1 コロナ禍の対応

○デジタル化の推進

文化政策課ではウィズコロナ時代を見据え、県立美術館を安全安心に訪れることができるよう、令和2年度から下記事業の予算化を進め、順次実施している。

・静岡県立美術館デジタルアーカイブ

ウィズコロナ時代における新たな鑑賞形態として、いつでもどこでもウェブ上で収蔵作品に触れることができる「静岡県立美術館デジタルアーカイブ」を新たに導入し、令和4年度から公開している。

・事前予約サービス

時間指定予約をすることで、並ぶことなく企画展に入場できるサービス。混雑が予想される大型企画展を中心に令和3年度から導入している。

・キャッシュレス決済

券売業務の効率化のため、令和4年度中に Air pay を導入する予定。(クレジット、QRコード、電子マネーに対応)

2 教育機関との連携(ふじのくに文化教育プログラム)

文化政策課では、県事業だけでも年間約8.6万人(令和元年度)の子どもに対して、様々な子ども向け事業を実施することができた。

令和4年度から子ども向け事業の全てを1つのプログラムとして体系付け、各学校に「ふじのくに文化教育プログラム」として情報提供することとした。

子ども向け事業一覧を掲載した簡易リーフレットの作成や、県立美術館を含む文化施設のチラシやパンフレットを集約して、県立学校・市立高等学校校長会、私学協会理事長校長会にて、配布・説明している。

また、令和5年度に向けて、プログラム冊子や専用ホームページの制作を検討している。

3 美術館の修繕

文化政策課では、令和3年度に開館から35周年を迎えた静岡県立美術館について、令和元年度に行った劣化診断業務委託の結果をもとに中期維持保全計画（5年間の修繕計画）を資産経営課と連携して策定し、工事などを進めている。

(1) 劣化診断の結果

区分	部材・設備機器	症状	今後の対応
建築	展示移動壁	穴・補修跡が相当数あり	改修
	乗用・荷物用エレベータ	耐用年数超過	更新
	外壁タイル剥離	外壁全面打診調査(R2)結果により実施	改修
電気	ロダン館受変電設備	耐用年数超過、劣化	更新
	監視カメラ設備	保守部品入手不可・機能低下	更新
	展示室スポットライト	照明効率の低下	更新
機械	吸収式冷凍機・スクリュウ冷凍機	故障頻発、劣化	更新
	ハロゲン消火装置	耐用年数超過	更新
	ファンコイルユニット	故障頻発	更新
舞台	講堂舞台照明	保守部品入手不可、劣化	更新
	講堂舞台音響設備	故障、保守部品入手不可	更新

(2) 中期維持保全計画

(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	合計
委託料	9,768	4,802	35,959	14,368	13,420	78,317
工事費	170,797	240,512	171,204	396,947	127,362	1,106,822
合計	180,565	245,314	207,163	411,315	140,782	1,185,139

※ 特定天井対策工事（R2 3,224千円、R3 70,701千円）は含まない。

(3) 令和3年度美術館改修工事

中期維持保全計画に基づき、改修工事を実施したほか、美術館エントランスホールの特天改修工事を行った。（工事期間中は休館）

項目	内容
決算	中期維持保全計画に基づく改修工事 240,512千円
	特定天井改修工事 70,701千円
	合計 311,213千円
工事期間	令和3年9月～令和4年3月
特定天井対策工事	エントランスホール天井をワイヤーにより落下防止措置
その他の改修工事	客用エレベータ・荷物用エレベータ更新、展示室照明LED化、展示室壁改修、屋上防水工事など